

# カトリック河原町教会だより

## 2020年11・12月

### 教皇フランシスコ 2020年9月27日「お告げの祈り」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、

神の国に関する説教のなかでぶどう園に行って働きなさいという父の命令に対し、兄はすぐに「いやです」と答えましたが、そのあとで考え直し、出かけました。一方、弟は「お父さん、承知しました」と答えましたが、実際には出かけませんでした。

今日の福音朗読で、もっともよい印象が残るのは兄です。神はわたしたち一人ひとりに対して忍耐強いおかたです。神はあきらめません。わたしたちが「いやです」と答えても、決してあきらめません。ご自分から離れ、過ちを犯すこともできるよう、わたしたちを自由にさせていただきます。主はどんなにわたしたちを待っておられることでしょうか。主はつねにわたしたちの傍らにおられ、助けてくださいますが、わたしたちの自由も尊重していただきます。そして、わたしたちが「はい」と答え、父であるご自分の腕にわたしたちを再び迎え入れ、限りのない恵みでわたしたちを満たすときを心待ちにしておられます。神への信仰は、悪ではなく善を、嘘ではなく真理を、利己主義ではなく隣人愛を日々新たに選ぶことを求めます。一人の悔い改める罪びとについては、九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にあるのです（ルカ 15・7 参照）。

一方、心を入れ替え、回心することは、しばしば痛みが伴います。今日の福音朗読は、キリスト者の生き方について問いかけています。その生き方は、夢と美しいあこがれによってではなく、み旨と兄弟愛に向けて自らの心を開くための実際の努力によって織り成されます。しかし、ほんのわずかな具体的な努力も、恵みがなければ行えません。「主よ、よりよくなる恵みをお与えください。よいキリスト者となる恵みをお与えください。」

聖霊の働きに従順に従えるよう、至聖なるマリアが助けてくださいますように。イエスが約束してくださったいのちと救いを得られるよう、わたしたちのかたくなな心をほぐし、悔い改める心構えをさせてくださるのは、聖霊にほかなりません。



フランシスコ

教会の様子(Instagramより)





## インマヌエル、私たちと共におられる神

洛東ブロック担当 シスター ロサ・チェリアン

主の誕生の奇跡を思いめぐらす際、教皇フランシスコはこう言われたことがあります。「キリストの誕生は私たちに良い知らせをもたらします。私たち一人一人が独自にとてつもなく愛されているという知らせです。そして、神はこの愛を私たちに知らせるだけではなく、この愛を私たちに与え、伝えてくださるのです（2013年12月18日、一般謁見）」

私たちの神は、どこまでへりくだられるのでしょうか！ ご自分を受けいれなかった民を救うために、ご自分を認めなかった世に来られました。（ヨハネ1：10～11）天で天使の群れに囲まれ、神の栄光と威厳に満たされていた御子は、ご自分の地位と権力を手放し、私たちの中で生きるために降りてこられます。お生まれになった天地の主は、王にふさわしい歓迎をお受けになりませんでした。高価な贈り物にも囲まれませんでした。天地万物を治めておられた方が、人間の体という条件に従うことを選ばれたのです。すべては、私たちのためでした。

なぜイエスは、私たちのもとに来るためにこれほど身を低くし空しくする形を選ばれたのでしょうか。それは、飼い葉桶に象徴される赤貧を通して、人類を救うためにそこまでご自分を低くされる神の愛が明らかになるためです。イエスがおられなければ、私たちこそ貧しいものです。見捨てられ、迷い、悪魔と人間自身の墮落した本性にさらされています。イエスは寒く、暗く、みじめな馬小屋でお生まれになりましたが、私たちの内にイエスが生まれてくださらなければ私たちの心も全くおなじです。

イエスが私たちに望んでおられるのは、ただ御自分の愛について考えることではなく、その愛を体験することです。私たちの心を動かし、私たちが体験から、神は独り子を遣わすほど世を愛され、私と共にいて罪から救われるようにして下さった（ヨハネ3：16～17）と言えるようになることを、イエスは願っておられます。これは、この待降節中に私たち一人一人に与えようとしておられる神の贈り物です。私たちはどれほど知っていようと、あるいは知っていなくても、神は私たちにさらに多くを与えようとしておられます。

もしかしたら私は羊飼いたちのように見張りながら待っているかもしれません。あるいは、ヨセフのように、すでに主とその道に深く献身しているかもしれません。あるいは、占星術の学者たちのように旅の途中で探し続けているかもしれません。どんな状態でもかまいません。神が望んでいるのは、あなたの心を開き、御自分とさらに深く交わることです。今は聖霊にこのように願う時期なのです。「私たちの目を開き、イエスを『私たちと共におられる神』として見えるようにしてください。一人一人が直接イエスの救いを生き生きと体験できることを知り、私の心が温かくなりますように」。

待降節中、毎日読む御言葉を黙想してください。それから心の中に様々な光景を思い描き、自分に繰り返し伝えなさい、「飼い葉桶に寝るこの幼子は本当に神である」と。神は本当に御自分を低くし、地上に来られ、あなたと共にいることが出来るようにして下さいました。

神は、あなたは何者であるかを知っています。あなたの希望も夢も、悩みも恐れも、すべてご存知です。あなたが直面してきた困難も、体験してきた勝利も、これから歩むべき道のりも、神はしっておられます。神はすべてをしておられ、あなたが進むあらゆる歩みとともにしようと決意しておられるのです。この待降節中、主の降誕を待ち望むこの日々、何よりも「インマヌエル、神は我々と共におられる」（マタイ1：23）である方、イエスに頼み、その愛で私たちに満たしていただきますように。





## 河原町教会の行事の記録

## 諸死者追悼ミサ

11月2日は教会の典礼暦で「死者の日」です。キリスト教の初期の時代から死者の記念を深い敬愛の心をもって尊び、死者のための祈願をささげてきました。

河原町教会でも毎年11月2日に追悼ミサを行っています。今年も瀧野神父司式によって、この一年に帰天された方々やすべての死者のためにミサが行われました。「諸死者の永遠の安息を祈り、



私達も神の子として生きる喜びと永遠の命を頂いていることに感謝しましょう」と語られました。

## 七五三の子どもたち ミサで祝福を受ける

11月15日10時半のミサで、七五三を迎えた10名の子どもたちが瀧野神父から祝福を受けました。メダイと千歳飴を手渡された子どもたちは笑顔いっぱいでした。聖堂内も喜びに満たされました。

“おめでとうございます”

お健やかに成長され、いつも神様のお守りがありますように。



## 待降節黙想会

11月28日(土)10時から11時まで、瀧野正三郎神父ご指導のもと、待降節黙想会が開催されました。まず「福音宣教とは何か～生活によるあかし～」のテーマで、30分間講話が行われました。第二バチカン公会議までのカトリック教会の歩みと、以前使われていた「布教」という言葉が「福音宣教」という言葉に変えられた第二バチカン公会議の意義をご説明くださいました。また、教皇パウロ六世使徒的勸告「福音宣教」から、信徒が担う福音宣教として、「生活のあかし」の重要性を強調されました。以前「福音宣教」とは、キリストを知らない人々に教え、説教し、カトリック要理を説き、洗礼その他の秘跡を授けることと定義されていました。しかし、福音は「あかし」によって述べられねばなりません。この世が価値あるとするすべてのものの彼方にあるもの、その尊いものに対する信仰と希望を示すのは信徒による無言の「あかし」です。コロナ感染症対策の換気のため、窓と扉は開けられた状態でしたが、寒さにも関わらず参加者は熱心に講話に聞き入っていました。講話の後、個人黙想と希望者に「ゆるしの秘跡」が授けられました。





◇2020年12月～2021年2月の行事予定◇(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
12	3	木	京都教区司教座聖堂献堂記念日ミサ 10:30 [待降節第2主日] 宣教地召命促進の日(献金)
	6	日	菅原神父霊名くアンノ 12/5 記念日のお祝い 10:30 ミサ中
	8	火	無原罪の聖マリア
	13	日	[待降節第3主日]
	20	日	[待降節第4主日]
	24	木	主の降誕(夜半のミサ) 18:30、21:00
	25	金	主の降誕(夜半のミサ) 7:00、10:30、13:00(英語)、18:30
	27	日	聖家族 瀧野神父霊名くステファノ 12/26 記念日 のお祝い 7:00 ミサ中
1	1	金	神の母聖マリア(元旦ミサ) 7:00、10:30 世界平和の日
	3	日	主の公現
	10	日	主の洗礼
	17	日	[年間第2主日]
	18	月	キリスト教一致祈禱週間(～25日)
	24	日	[年間第3主日]
2	31	日	[年間第4主日] 世界子ども助け合いの日(献金)
	2	火	主の奉献
	7	日	[年間第5主日]
	11	木	世界病者の日
	14	日	[年間第6主日]
	17	水	灰の水曜日(四旬節) (大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節の期間中)
	21	日	[四旬節第1主日]
	28	日	[四旬節第2主日]

## お知らせ (敬称略)

## ◆洗礼と堅信 おめでとうございます

2020.11.8 十字架のヨハネ 秋山 浩郁

2020.11.8 パオラのフランシスコ 高山 統

2020.11.8 ユスト 牧野 崇

## ◆転入 ようこそ 河原町教会へ

2020.9.27 イメルダ 久保田 香苗

## ◆転出 どうぞお元気で

2020.9.19 パウロ 山田 倫義 2020.9.28 ベルナデッタ 周防 美代子

2020.10.2 アグネス 宮川 遥 2020.10.21 クララ 越知 康子

## ◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2020.10.22 フランシスコ・ザビエル 平野 慶次

## ◆婚姻 おめでとうございます

2020.10.2 飯坂 剛一 ローザ 湯川 かえで

2020.10.3 パウロ 徳本 哲彌 ベタニアのマリア 深田 喜子

## ミサの時間

## 主日のミサ

土曜日 9:00 18:30

日曜日 7:00 10:30

英語ミサ 第2・4日曜  
12:00※人数の制限があります。  
週日ミサは当分行わない予定です。

(最新の情報はウェブサイトをご確認ください)

## 講座の時間(休講の日もあり)

## これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座(菅原神父)  
木曜日 10:00  
土曜日 11:00 15:00

## 主に信徒向け

信仰入門講座(瀧野神父)  
金曜日 19:00  
(12/25, 1/1 休講)聖書の集い  
金曜日 11:00(Sr.ロサ)  
(12/25 休講)聖書を読む会  
土曜日 11:00(Sr.ロサ)  
(12/26 休講)読書会  
パウロ六世『福音宣教』読書会  
水曜日 10:00(瀧野神父)  
(12/23,30, 1/6 休講)「ヘブライ人への手紙」を読む  
毎月第1土曜日 19:10(菅原神父)これから洗礼を受けられる方向け  
は事務室か  
rakuto.nyumon.class@gmail.com  
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2020.11・12 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者: 洛東ブロック司牧チーム

TEL: 075-231-4785 FAX: 075-211-8021 URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>